

降誕節第3週 主日礼拝

2015年1月11日

第一礼拝(8:00～) 第二礼拝(10:30～) 夕拝(19:30～)

前奏	(新聖歌41)			
招きのみことば	『創世記』1章26-28節	司	会	者
※開会の賛美	新聖歌8「七日の旅路」	—		同
※信仰告白	「使徒信条」(新聖歌p.826)	—		同
代表祈禱		司	会	者
感謝の賛美	新聖歌185「来れ誰も」	—		同
聖書朗読	『マタイの福音書』3章13-17節(新約4頁)	司	会	者
聖書黙想		—		同
説教	「バプテスマは十字架へ続く道」	近	伸之	牧師
黙想		—		同
※応答の賛美	新聖歌355「主と共に歩む」(bで2音下げる)	—		同
感謝の献金	(新聖歌55)	—		同
感謝祈禱				山崎 敬典兄
諸案内	(来信と集会案内)	司	会	者
諸報告	(来会者紹介と諸報告)	近	伸之	牧師
※頌栄の賛美	新聖歌60「天地こぞりて」	—		同
※派遣の賛美	新聖歌54「主の祈り」	—		同
※祝福の祈り				近 伸之 牧師
※後奏	(新聖歌59-7)			

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立お願いします)

司会	横堀 正美兄	録音・映像	片山 勝三兄	CS担当	片山 初子姉
集會	横堀 信子姉	演奏・操作	横山 洋平兄	掃除	森田 澄子姉
		説教の録画	近 伸之牧師		

説教メモ

- イエスがバプテスマを受けたとき、聖霊が鳩のように降り、天から父なる神の御声が響いた。それはあたかも、わが子の行動を喜び父母の姿をほうふつとさせる。親の愛情にも似た神の愛は、人間が「神のかたち」に造られた以上、当然である。しかし人は罪によって、神のかたちを毀損して生まれてくる。
- 人は神のかたちに造られた最も尊い者であると同時に、罪によって神と断絶した、最も悲惨な者である。すべての人を支配する罪の原理から解放されるためには、ただキリストの贖い以外にはない。だが罪を知らないがゆえに罪に勝利するイエスは、罪を悔い改めるバプテスマをヨハネから受ける。
- イエスのバプテスマは、十字架につながっている。罪を知らない方が罪の悔い改めのバプテスマを受けた。罪を知らない方が、罪のさばきとして十字架で殺された。それは、あなたのためである。神は三位一体の交わりを自ら引き裂いてまで、十字架への道を進まれた。私たちもその道に続いていこう。

個人、団体からの来信

2015年1月11日

「1対1弟子養育聖書研究」研修会(1/18より毎月第三主日の午後1時半 巻キリスト教会にて)／  
 宣教区会議の公示(1/27火 19:00より 新潟福音教会にて)、他／  
 ライフラインラリー下越地区連絡会のお知らせ(2/2月 19時より 新潟福音教会にて)／  
 新潟「信教の自由」講演会(2/8主日 午後7時-9時 新潟福音教会にて)／PBAよりDVD

先週の集会出席者数

1/4(日)	教会学校	幼児男子- 小学男子- 中学男子- 高校男子- 子ども 成人男性- 幼児女子1 小学女子1 中学女子- 高校女子- 2名 成人女性2			
1/4(日)	第一礼拝	男4 女4 計8	1/5(月)	月曜家庭集会	男3 女4 子7
	第二礼拝	男11 女18 計29 子4	1/7(木)	阿賀野祈禱会	男3 女6 計9
	夕 拝	男1 女- 計1	1/9(金)	しゃべり場夕ピタ	男- 女 計
			1/9(金)	金曜祈禱会	男- 女4 計4

諸集会のご案内

1/12(月・祝)	月曜家庭集会	(休会)	
1/14(水) 19:30～	新潟山形僚禱会	教会堂	司会:片山 初子姉
1/16(金) 13:30～	しゃべり場夕ピタ	渡辺智子姉宅	問合せ先:小山 千春姉
1/16(金) 夜	金曜祈禱会	教会堂	

1/18(日)降誕節第4週

第一礼拝 8:00～	司会:近 伸之牧師	音響:片山 勝三兄	
教会学校 9:00～	担当:小林 洋子姉		
第二礼拝 10:30～	司会:佐藤 繁実兄 集會:小川 柳子姉	音響・映像:片山 勝三兄 演奏・操作:横山 洋平兄 説教の録画:山崎 敬典兄	感謝祈禱:長谷川睦子姉 掃除:横堀 信子姉
主日の予定			
礼拝について (通常礼拝)			
夕拝 19:30～	司会:近 伸之牧師	説教:近 伸之牧師	

報告

- 礼拝の感謝  
礼拝の恵みを感謝します。今週もみことばの恵みをかみしめて歩んでゆきましょう。
- 宣教区の各集会について  
明日12日(月・成人の日)午前10:00より、「家庭の祝福が教会の土台に」という主題で集会が行われます。当教会からは10名ほどが参加を予定しています。講師を務めてくださる奥山信先生、恵美先生ご夫妻、そして新成人となる8名の方々の祝福を祈りましょう。
- 総会準備について  
来月末に教会総会を行いますので、各部・委員会の方は一年間の歩みを振り返り、次年度の活動を視野に入れて話し合いの時間を持ってください。話し合いの報告はB5用紙1～2枚にまとめて、今月中に書記役員の小山千春姉へ提出してください。
- 時節の便り  
赤松 望先生、福岡めぐみ教会、Histyle(五十嵐寛之氏)より、ハガキが届いています。

ある言語学者が、今の日本語に見られるひとつの傾向は、名詞中心の言い方が増えてきたことだと言っていました。名詞中心の構文は、知的な印象を与えますが、反面、冷たい非生活的なニュアンスを感じさせるというのは確かなようです。ですから、その言語学者は、相手にやわらぎと親しみを伝えるには、動詞を多く使うようにしたほうがよいと勧めています。

神の愛は動詞

ところで、ある人は、「愛」は名詞ではなく動詞であると言いました。愛を名詞として考える時には、「愛とは……」というように、説明、概念、思想といった面が印象づけられるように思います。

それにひきかえ「愛する」となると、そこには実践があり、行動があり、「あたたかさ」さえ感じられてくるから不思議です。そして神の愛こそは、行動を伴う愛そのもので、そのあらわれが、あの十字架なのです。

神の愛は事実

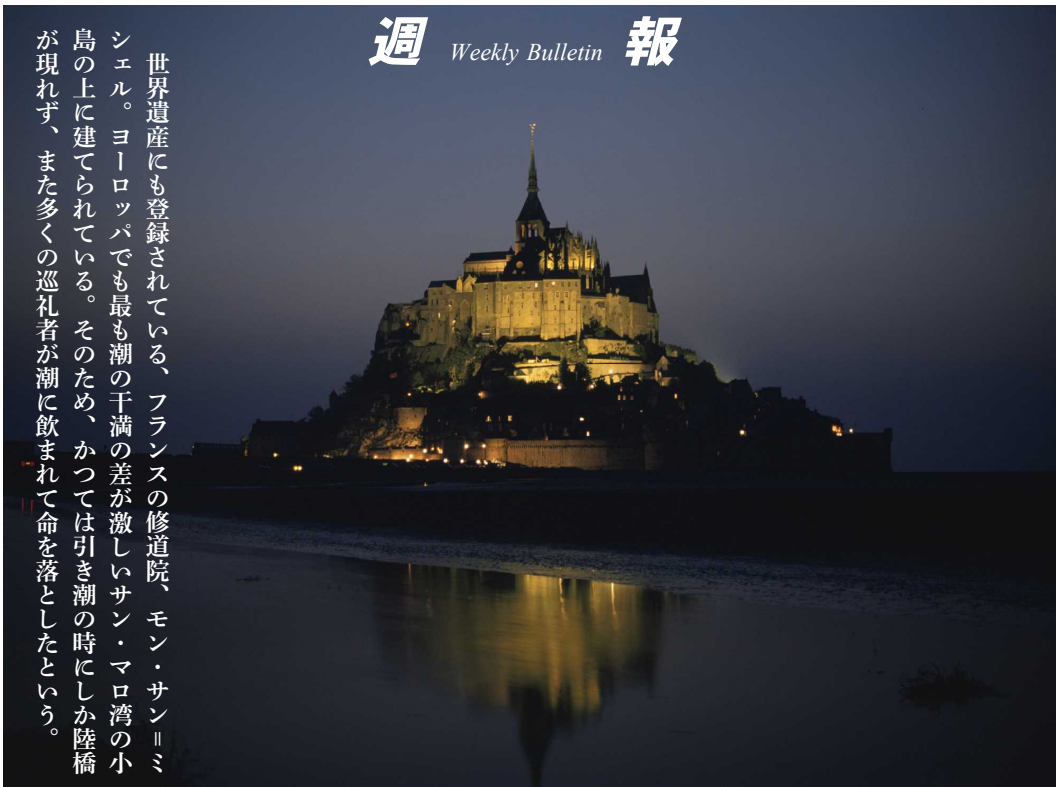
聖書の中で、ヨハネは、「子どもたちよ。私たちは、ことばや口先だけで愛することをせず、行ないと真実をもって愛そうではありませんか」と勧めています。(ヨハネの手紙 第一3・18)

その根拠は「キリストは、私たちのために、ご自

分のいのちをお捨てになりました。それによって私たちに愛がわかった」からだと言っているのです(同16節)。この「それによって」という言葉は、ある英語の訳によると「この事実によって」となっています。神の愛は、み子キリストがいのちを捨ててくださった事実によって裏付けられているということなのです。いのちが投げ出され、あの十字架上のキリストの体内からすべての血が流れ出たというまなましい事実に基づいているのです。

神の愛は不変

人は、金銭、物、人、何であれ、それが自分にとって価値ある時に愛します。ですから価値が感じられなくなれば、愛もなくなります。それにひきかえ、神の愛は不変です。聖書によると、神は私たちを天地の造られる前から愛してくださっていることがわかります。更に私たちが罪人で神の敵であった時でも、救い主キリストを通して愛をあらわしてくださったのです。(ローマ人への手紙5・6～8)



世界遺産にも登録されている、フランスの修道院、モン・サン・ミシエル。ヨーロッパでも最も潮の干満の差が激しいサン・マロ湾の小島の上に建てられている。そのため、かつては引き潮の時にしか陸橋が現れず、また多くの巡礼者が潮に飲まれて命を落としたという。


週 Weekly Bulletin 報

**2014年度教会目標 「互いに励ましながら」**

年間目標 牧師・信徒がそれぞれ同じ教会のからだの一部分であることを自覚し、とりなし、励ます教会へ「ただ強く、雄々しくあってください」(ヨシヤ1:18b)

中期目標 5つの地域群(早通・豊栄・新発田・阿賀野・新潟)から、各地域へ福音を伝えていこう「アジアに住む者はみな、ユダヤ人もギリシャ人も主のことばを聞いた」(使徒19:10)

長期目標 県下20市の中で唯一教会のない阿賀野市に向けて、宣教区レベル開拓への斥候として「キリストの御名がまだ語られていない所に福音を宣べ伝えることを切に求めたのです」(ロマ15:20)

**ライフライン** 毎週土曜日 朝5:30~6:00 BSNテレビにて放送中です。  
 ☆24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592 

1/17(土)「Color of Tomihiro Hoshino」(1) ■メッセージ:関根弘興



昨年、東京・渋谷で「Color of Tomihiro Hoshino」というコンサートが開催されました。これは、6組のクリスチャンアーティストが、詩画家・星野富弘さんの詩に曲を付け、音楽と朗読で綴るというものでした。番組では、そのコンサートの様子を2週にわたって紹介します。1週目は、Olive、大宮香織、Rainbou Music Japan、TAKE Oの歌とお話をお届けします。

Broadcast for Expanding Gospel into Niigata BEGiN. ここから始まる、あなたの伝道。

私たち豊栄キリスト教会は、『ライフ・ライン』の協力教会です。

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15

**日本同盟基督教団 新潟山形宣教区**  
 豊栄キリスト教会 (牧師 近 伸之)  
 TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155  
 ホームページ: <http://www.toyosakakyokai.com>  
 電子メール: [info@toyosakakyokai.com](mailto:info@toyosakakyokai.com)  
 ブログ: <http://toyosakakyokai.seesaa.net>

